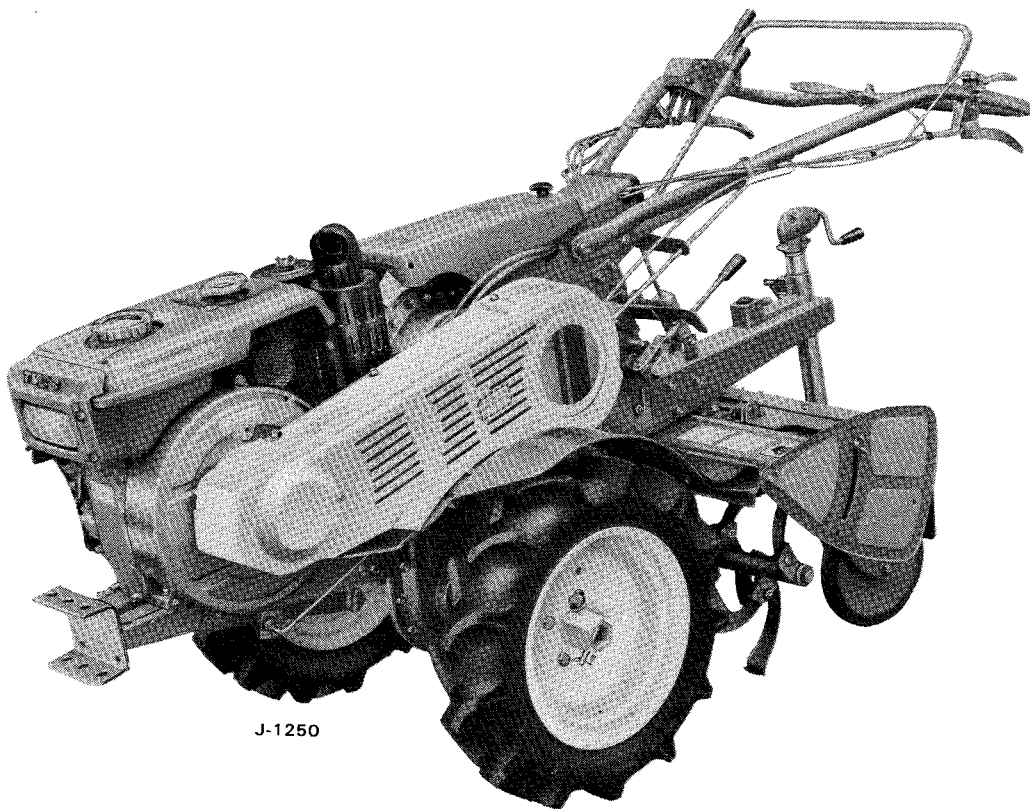


# 快足ターター

## (Z)TD502・502-R



J-1250

## 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

# 安全に作業するために

安全運転のために、次のことがらを必ず守ってください。

## 耕うん機・テラー＋安全五憲章

1. 道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは、必ずロータリの回転を止めます。
2. 農道を走行するときは、スピードを落とし路肩に注意します。
3. ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進、下りは後進で行ないます。
4. バックをするときは、スピードを緩め背後の障害物に注意します。
5. 機体の点検・調整・整備は必ず、エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

### 1. はじめに

取扱説明書をよく読んで、機械の使い方をよく覚えてから使用してください。そして機械を点検し、異常箇所がないか確かめてから使用してください。

### 2. 燃料の給油とエンジンの始動

- (1)燃料補給をするときは、
  - 必ずエンジンを停止して行ないます。
  - 燃料をこぼさない。
  - こぼしたときは、きれいにふきとります。
  - 火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。
- (2)密閉した車庫内で、長時間エンジンをかけたままにしておくと、空気を汚しガス中毒を起す危険があります。
- (3)エンジンを始動するときは、主クラッチを切り、主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

### 3. 始 動

発進するときは、周囲の安全を確かめ、機械の付近に人が近づかないようにして

ください。

又、バックするときには、足元・後方をよく確かめてから、エンジンを低速にしてバックしてください。

### 4. 作業中

- (1)傾斜地で作業したり、重い荷物をけん引するなど、無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。
- (2)ベルトカバーなどを取外した状態で運転すると、回転部分に巻込まれる危険があります。
- (3)共同作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわしてください。
- (4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

### 5. 積込み・積降ろし

- (1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し、周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
- (2)積込み・積降ろし中に、トラックが動かないように、必ずトラックのサイドブレーキを確実にかけてください。

# 安全に作業するために

## 6. 走 行

- (1) 6速で道路走行中、操向クラッチは切らないでください。急旋回して危険です。
- (2) 下り坂では、主クラッチを切ったり、変速を中立にすると、スピードが出すぎて危険ですので、行なわないでください。
- (3) 坂道での変速操作は危険です。平坦な所であらかじめ遅い速度に変速し、安全な速度で走行してください。
- (4) 坂道で操向クラッチを操作すると、思わぬ方向に機体が曲ることがあります。坂道では速度を遅くし、ハンドル操作でカーブを曲るようにしてください。
- (5) 高低差が大きいほ場への出入りは、転倒の恐れがあり、必ずアユミ板を使用してください。
- (6) 一般道路上では、自動車に道を譲るなど、交通法規・交通道徳を守ってください。
- (7) カーブでは、速度を落としてハンドルを操作してください。
- (8) 踏切を渡る場合は、必ず一旦停止し、列車通過の有無を確認の上、速やかに渡ってください。

## 7. ロータリ作業

- (1) 耕うん爪の点検及び交換するときは、次のことを守ってください。
  - 平坦な場所で。
  - エンジンを止める。
- (2) ロータリ作業時は、次のことを守ってください。
  - 爪軸など、回転部分には手を近づけないでください。
  - ロータリの上に乗らないでください。
  - バックのときは、必ず後方を確認してください。

## 8. その他

- (1) 次のような状態では運転しないでください。
  - 飲酒運転。● いねむり運転。
  - 病気や薬物の作用で、正常な運転ができないとき。● 妊娠中の方。
- (2) だぶついたズボンや上着など、回転部分に巻込まれやすい服装は、たいへん危険です。
- (3) 点検・整備・清掃などは、必ずエンジンを止めてから、取扱説明書に従ってください。
- (4) 作業中又は作業後に、高温部分（マフラ・ラジエータなど）に触れるとヤケドをする危険がありますので、必ず冷えてから整備・点検などを行ってください。
- (5) 機械を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、「取扱説明書」「安全注意ポスタ」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

★以上、機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために、主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で **安全ポイント** として、その都度とり上げております。更に、安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので、よくお読みいただいて必ず守ってください。



# はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございました。

この取扱説明書は、テラーの正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。

本機のすぐれた性能を十分に発揮して、安全に快適な運転をしていただくため、本書をよくお読みいただき、充分理解してから御使用くださるとともに、日常の保守点検・整備・給油などを充分に行なって長く御活用ください。又、お読みになった後必ず大切に保存し、わからないことがあったとき取出してお読みください。

なお、本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために、不断の研究成果を新しい技術として、ただちに製品に取入れておりますので、お手元のテラーと、この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが、あらかじめ御了承くださいますようお願いいたします。

# 目次

サービスと保証	1
---------	---

小型特殊自動車としての取扱い	2
----------------	---

運転装置の説明	3
---------	---

運転のしかた	6
--------	---

始動前の点検	6	テーラーの運転	8
エンジンの始動	6	エンジンの停止	8
寒冷時の始動	7		

テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには	9
----------------------	---

作業点検(毎日始動前の点検)	9	各部の給油・点検とオイル交換	12
ならし運転(最初の10アール使用まで)	9	エアークリーナの清掃	14
定期点検	9	使用後の清掃	14
燃料について	10	長期格納時の手入れ	14
ラジエータについて	11		

保守と調節	15
-------	----

主クラッチの調節	15	タイヤの空気圧の調節	16
駐車ブレーキの調節	16	手元ハンドルの上下調節	17
操向クラッチの調節	16	車輪間隔調節と車輪交換	17
ファンベルトの張り調節	16		

ロータリ装置の取扱い【ロータリ付仕様】	18
---------------------	----

給油と点検	18	副チェーン sprocket の前後入換え	20
ロータリ変速レバー	19	耕うん爪の取付け方	20
後輪上下ハンドル	19	ロータリ部の取外し・取付け	21
後輪外管締付けハンドル	19	爪けん制の解除	22
防土カバーの上下調節	19		

付表	23
----	----

アタッチメント一覧表	23	主要諸元	28
オプション部品	27		
標準付属品	27		

# サービスと保証

このテラーには、保証書が添付してあります。  
詳しくは保証書を御覧ください。

なお、御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は、お買いあげいただきました販売店・農協又は当社内燃機器支店に、それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。

その際 (1)テラー名称と車台番号

(2)エンジン名称とエンジン番号

(3)部品御注文の際は、

タイトル名称・図番及びコードNo.

(純正部品表参照)

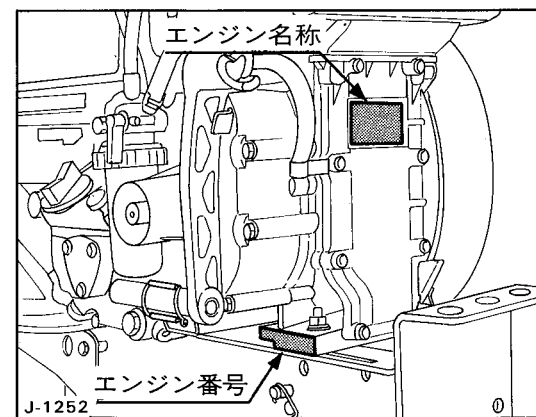
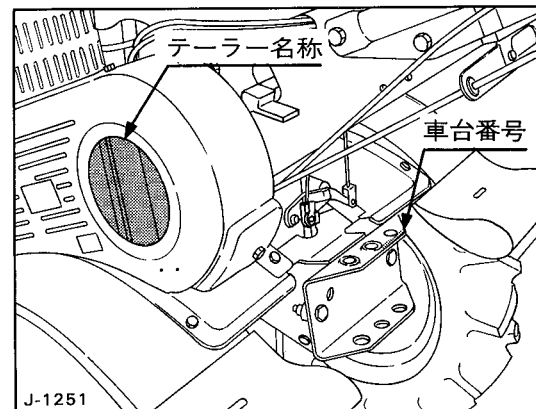
を合せて御連絡ください。

## ◆安全鑑定合格番号

クボタTD502.....602052

## ◆型式認定番号

クボタTD502.....農1538号



## ■小型特殊自動車とは、

カタピラを有する自動車、農耕作業用自動車及び運輸大臣の指定する特殊な構造を有する自動車で、下欄に該当する自動車。

車体の大きさ	全長	4.70m以下
	全幅	1.70m以下
	全高	2.00m以下
最高速度	15km/時以下	
原動機の総排気量	1500cc以下	

## ■小型特殊自動車に必要な保安装置

### (1)最小回転半径

トレーラを取付けた状態で、最外側のわだちについて12m以下。

### (2)ブレーキ

一系統以上の制動装置が必要です。その制動距離は、制動初速度15km毎時未満の最高速度の状態、5m以内で停止すること。

## 小型特殊自動車としての取扱い

このトレーラにトレーラを取付けて道路を走行すると、道路運送車両法により小型特殊自動車になるので、運輸大臣の型式認定を受けています。

### ■小型特殊自動車取得の届出とナンバープレートの取付け

トレーラを取付けて道路を走行する場合は、市町村条例により、その取得を市町村役所に届出、ナンバープレートを取付けなければなりません。

（詳細な手続きは市町村により相違がありますが、役所窓口での簡単な手続きでできます。）

- ① 小型特殊自動車取得の証明書など（販売店・農協で発行）に、軽自動車税（年間標準税額1000円）を添えて、市町村役所に届出る。
- ② 届出が済むと、ナンバープレートが交付される。
- ③ ナンバープレートを車体の取付け位置に取付ける。

### ■運転免許

トレーラを取付けて公道を走行する場合は、小型特殊自動車の運転可能な免許が必要です。必ず所持してください。

### ■自動車損害賠償責任保険のお勧め

万一の交通事故補償に備えて、任意保険に加入されることをお勧めします。

### ■道路走行時の注意

- (1) 型式認定時の寸法を越えるトレーラを取付けしないでください。
- (2) ブレーキのきかないトレーラは使用しないでください。
- (3) バックミラー・ホーン・ヘッドランプ・後部反射器が、確実に作用するか点検し、整備してください。
- (4) 最高速度は15km/時以下です。車輪やプーリーを交換して、これ以上の速度が出るようにしないでください。
- (5) 運転者のほかは乗車させないでください。
- (6) トレーラの積載重量と寸法を守りましょう。
- (7) 動力取出し軸にカバーをしてください。
- (8) エンジン排気口の向きを前に向けてください。

### (3)ヘッドランプ

前方に1個のヘッドランプが必要です。

### (4)後部反射器

トレーラの後面には、後部反射器を備えなければなりません。

トレーラを使用される場合は、確認の上、装備されていない場合は、販売店・農協で御購入の上、必ず取付けてください。

（クボタ純正トレーラには、後部反射器が装備されています。）

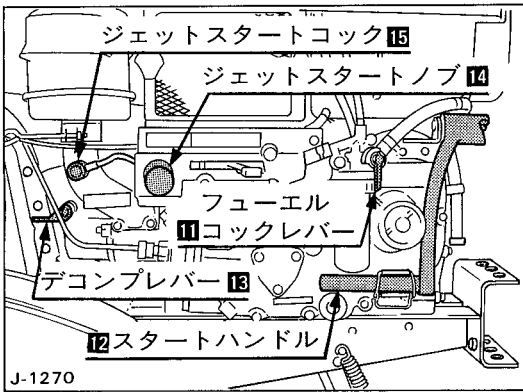
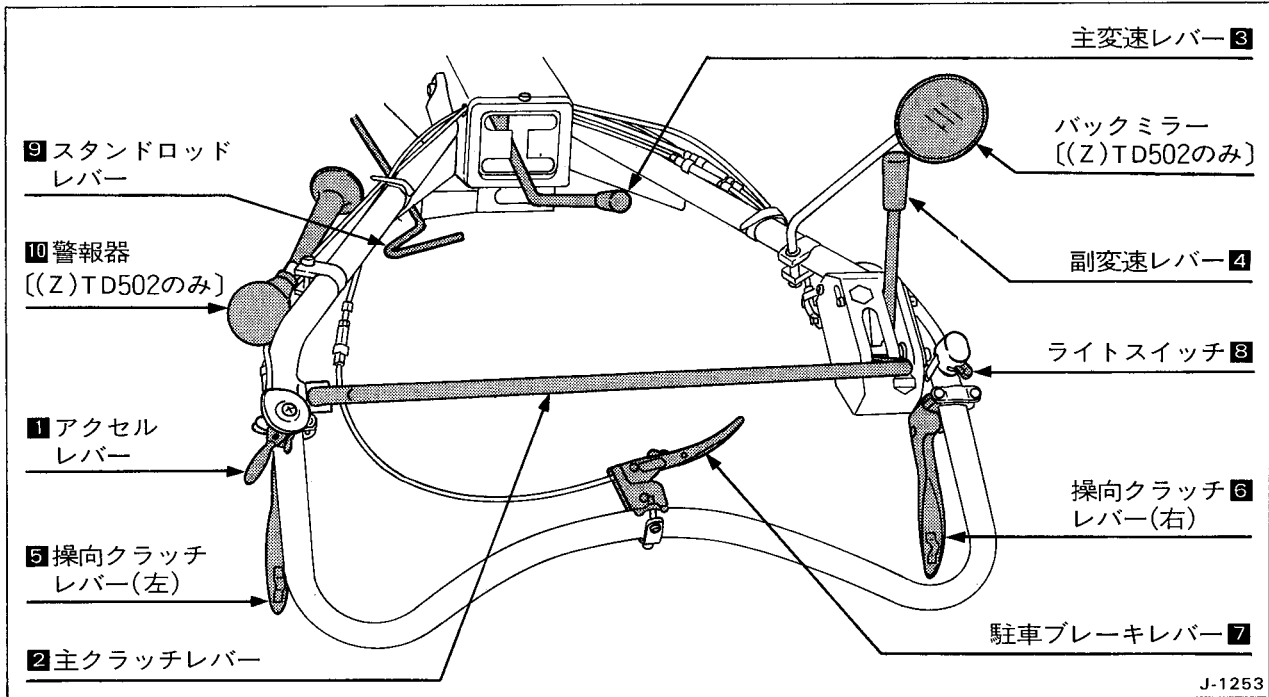
### (5)ホーン

ホーンは必ず備え付けなければなりません。

### (6)バックミラー

バックミラーは必ず備え付けなければなりません。

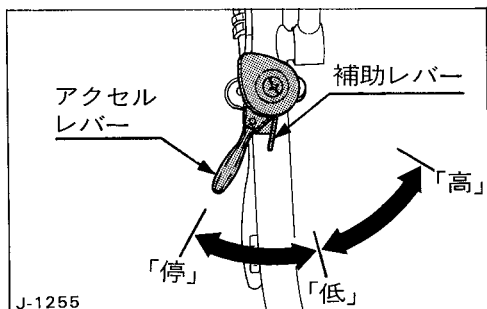
# 運転装置の説明



## 1 アクセルレバー

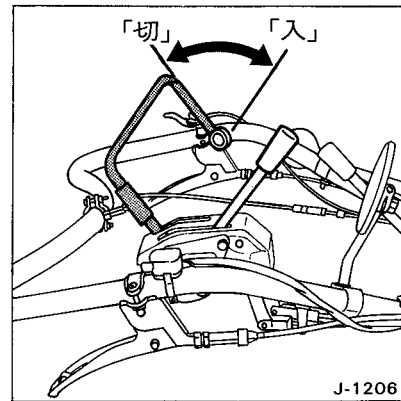
エンジンの回転速度を調節するレバーです。

「高」	エンジンの回転が高速になる。
「低」	エンジン回転が低速になる。
「停」	エンジンは停止する。 (補助レバーを押えて作動させる。)



## 2 主クラッチレバー

エンジンから車軸への動力を断続します。



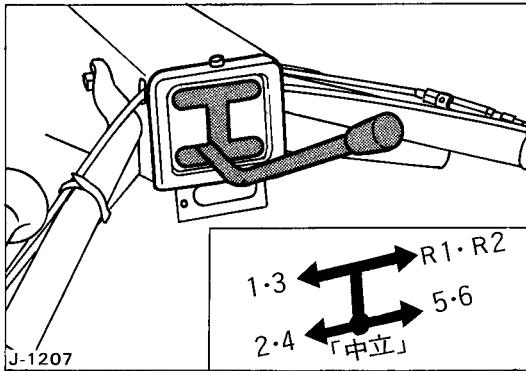
### 安全ポイント

- (1) トレーラ運搬作業や路上走行時、主クラッチレバーを急激に入れますと、エンジンを止したり、急に走り出したりして危険です。
- (2) 後進のときは、ハンドルが持ち上がり危険ですので、ゆっくり主クラッチを入れてください。



### 3 主変速レバー

副変速レバーとの組合せにより、前進6段・後進2段の変速ができます。作業に適した速度をお選びください。



#### 注意

- 前進後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず、いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

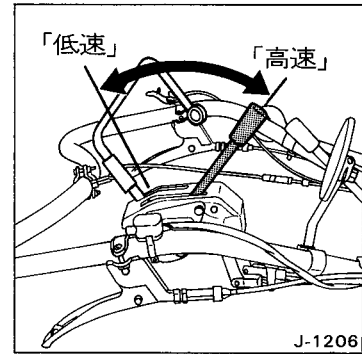
#### 安全ポイント

- (1) 誤操作による危険防止のため、変速操作はなるべく主クラッチを確実に切ってください。
- (2) 湿田車輪など大径車輪を使用時の「後進」は危険ですから教えてください。やむをえず「後進」するときは、後方の安全を確め、耕うん部が持上らないよう、ハンドルを押えながら行ってください。
- (3) 「前進6速」「後進2速」は高速で危険です。トラレー作業のほかは使用しないでください。

副変速レバー	主変速レバー
↑ ↓ 「低速」	「1速」 ← → 「R1」 「2速」 ← → 「5速」 「中立」
↑ ↓ 「高速」	「3速」 ← → 「R2」 「4速」 ← → 「6速」 「中立」

### 4 副変速レバー

「高速」「低速」の切換えができます。



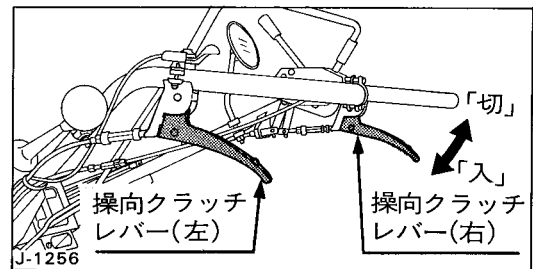
#### 安全ポイント

- ロータリ作業は副変速「低」(前進1・2速)で使用してください。3・4・6速はロータリが高速回転して危険です。

### 5 6 操向クラッチレバー(左)(右)

左右それぞれの車軸への動力を断続するレバーです。旋回するときに使用します。

左側のレバーを握る。	左に旋回する。
右側のレバーを握る。	右に旋回する。
両方のレバーを握る。	両車輪の回転が止まる。

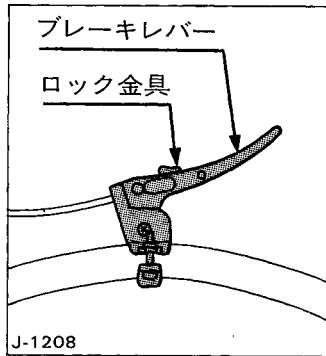


#### 安全ポイント

- 坂道を運行している場合、又はトラレー運搬の場合は、操向クラッチを切ると、急激に機体の方向が変わって危険ですから、操向クラッチは切らず、ハンドルのみで操作してください。

## 7 駐車ブレーキ

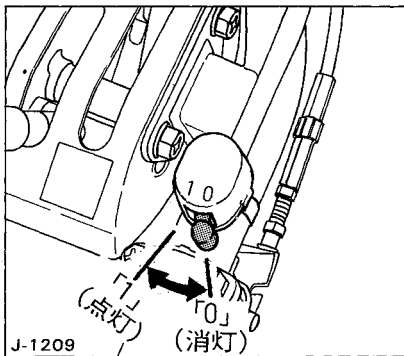
レバーを握るとブレーキがききます。更にロック金具を作用させると、レバーがロックされ、駐車ブレーキになります。



### 安全ポイント

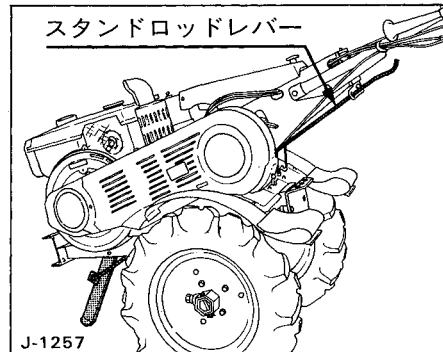
- このブレーキレバーは駐車ブレーキのため、路上走行中は使用しないでください。走行中使用すると、ハンドルが上(前進時)下(バック時)に急激に揺れます。

## 8 ライトスイッチ



## 9 スタンドロッドレバー

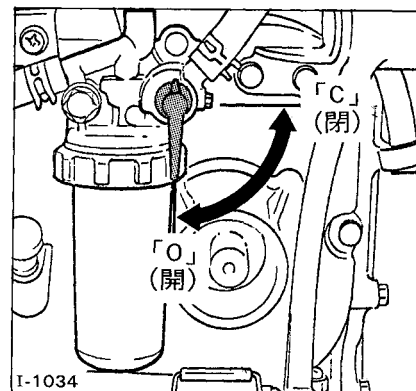
手前に引くとスタンドが引込み、前方に押すとスタンドが立ちます。



## 10 警報器

ゴム部を握ると音が鳴ります。

## 11 フューエルコックレバー



## 12 スタートハンドル

## 13 デコンプレバー

エンジンを始動するための装置です。

## 14 ジェットスタートノブ

## 15 ジェットスタートコック

寒冷時の始動の際に使用します。

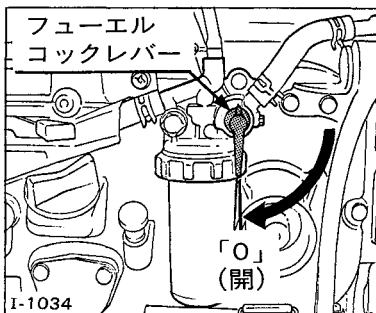
# 運転のしかた

## 始動前の点検

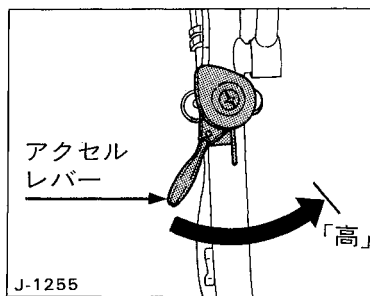
エンジン始動前には、必ず作業点検（毎日始動前の点検）を行なってください。（9ページ参照）

## エンジンの始動

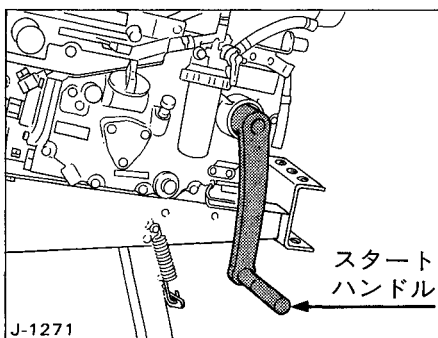
- ① フューエルコックレバーを「0」の位置にします。



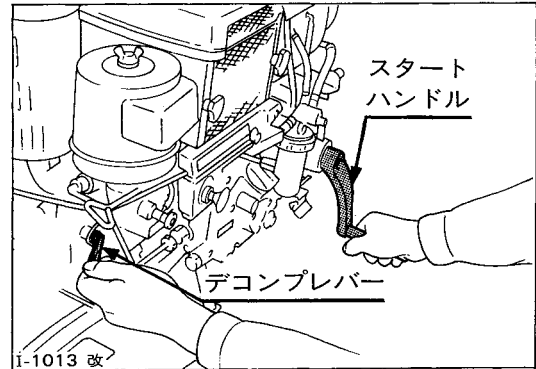
- ② アクセルレバーを「高」の位置にします。



- ③ スタート軸にスタートハンドルを、完全に爪が引掛かるまで奥に差込みます。



- ④ 左手でデコンプレッサーを引上げ、右手でスタートハンドルをゆっくり回します。しばらくすると慣射音がし始めます。（音がしない場合は、燃料とフューエルコックレバー位置の確認を行なってください。）（10ページ参照）



- ⑤ スタートハンドルを勢いよく回し、勢いのついたころデコンプレッサーを放すと同時に、スタートハンドルに引っ張り力を入れ、圧縮位置を越せば、エンジンは始動します。
- ⑥ 始動したら、オイルシグナルが赤色から青色に変わっているか確認します。（7ページ参照）
- ⑦ エンジン始動後、しばらくは各部にオイルがいきわたるための時間が必要ですので、数分は荷をかけないで、エンジンの調子を見てください。

## 安全ポイント

- (1) エンジン始動の際は、主クラッチレバーは「切」、主変速レバー・ロータリ変速レバー（ロータリ付）は「中立」の位置にしておいてください。
- (2) マフラ排気出口に燃えやすいものがないか、確認してください。
- (3) エンジン運転中は、マフラに手を触れないでください。
- (4) エンジン運転中は、ラジエータキャップを絶対に開けないでください。
- (5) 通気の悪い室内などでエンジンを運転しないでください。排気ガス中には有毒な成分が含まれていますので、作業中は、使用者はもちろん周りの人や家畜などにも、排気ガスに充分注意してください。

(6)スタートハンドルの増速比は2.5倍のため、圧縮の位置は常に移動します。

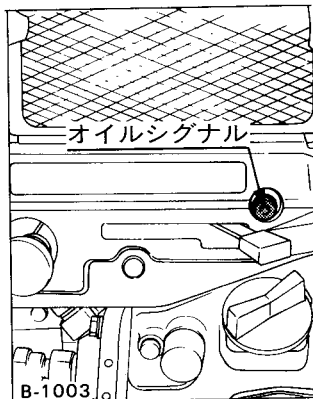
(7)圧縮越しのときには、絶対にスタートハンドルに加える力を抜いたり、ハンドルを抜かないでください。圧縮位置を越しても、2～3回はハンドルの力を緩めずに勢いよく回してください。

(8)エンジンが始動すると、ハンドルは軸から自然に抜けるので、エンジンが始動しても、絶対にハンドルから手を離さないでください。ハンドルから手を離すと、ハンドルが軸と一緒に回り、たいへん危険です。

(9)始動後は、必ずオイルシグナルを見て正常かどうかを確認してください。

## ■ オイルシグナル

エンジン停止時は赤色です。エンジンを運転すると、赤色から青色に変わります。これは、オイルポンプが正常に働いていることを示すもので、青色が見えると正常です。



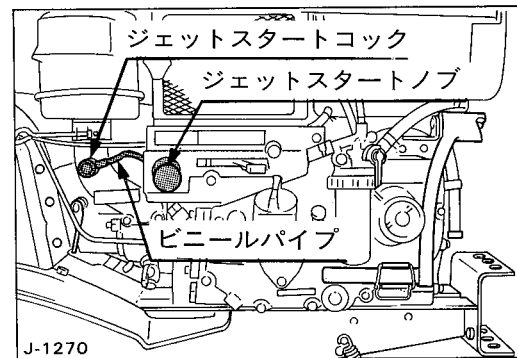
### 注意

- オイルシグナルが赤のまま、エンジンを運転すると、エンジンが焼付きます。すぐにエンジンを停止し、販売店・農協に御連絡ください。

## 寒冷時の始動

寒冷時は、ジェットスタートを次の順序で使用すると、楽に始動することができます。

- ① ジェットスタートコックを左に回して、コックを開けます。
- ② ジェットスタートノブを4～5回、引き押しする。  
(エアークリーナフランジ内に燃料が4～5 cc 注入されます。)



- ③ コックを元通り完全に締めます。
- ④ アクセルレバーを「高」の位置にします。
- ⑤ デコンプレッサーにさわらず、スタートハンドルをゆっくり回し、圧縮位置を越さずに圧縮反転を約10回繰返します。  
(シリンダ内の空気が圧縮熱により上昇し、シリンダ内にも適当な油膜が形成され、始動しやすい状態になります。)
- ⑥ デコンプレッサーを上げ、勢いよくスタートハンドルを回し、勢いのついたところにデコンプレッサーを放すと同時に、スタートハンドルに力を入れ、圧縮位置を越せば始動します。

### 注意

- (1)燃料は、タンク下部の取出し口からゴムパイプを通り、ジェットスタートへ吸込まれますが、フューエルタンク底にゴミや水がたまりまると、ジェットスタートの吸込みが悪くなりますから御注意ください。
- (2)ジェットスタート使用による燃料注入状態は、コックとポンプをつなぐビニールパイプを見ると確認できます。
- (3)ラジエータに熱湯を入れると、エンジンが暖まり、始動が楽になります。

- (4)寒冷時最も大切なことは、クランクケースに、指定のクボタ純オイル（ディーゼルエンジン用）D10W30を使うと、始動の際、スタートハンドルをたいへん軽く回すことができます。

### 安全ポイント

- 運転中は、必ずジェットスタートコックを締めておいてください。コックを開けていると、運転中燃料を吸込む恐れがあります。

## トレーラの運転

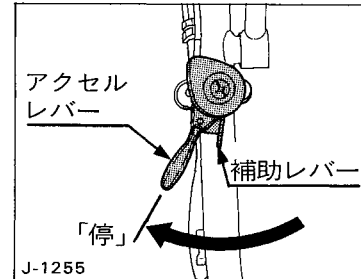
- ①主クラッチレバーが「切」の位置にあることを確認の後、主変速レバー・ロータリ変速レバー（ロータリ付）を必要な変速位置に入れます。
- ②主クラッチレバーを「入」にすると発進します。

### 安全ポイント

- トレーラ作業のほかは、前進6速・R2速は使用しないでください。

## エンジンの停止

アクセルレバーを「停」の位置にします。  
この際、デコンプレバーには絶対に触れないでください。



### 安全ポイント

- (1)エンジン停止後は、マフラが熱くなっていますので、手を触れないようにしてください。
- (2)エンジン停止後しばらくは、ラジエータキャップを開けないでください。熱湯でヤケドをする危険があります。

## テラーを安全に調子よく長持ちさせるには

### 作業点検（毎日始動前の点検）

故障を未然に防ぐには、機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。

毎日始動前に、必ず作業点検を行なってください。

1. 前日使用の異常箇所。
2. テラーの回りを歩いて、
  - (1)燃料は充分か。 (10ページ参照)
  - (2)冷却水の量。 (11ページ参照)
  - (3)エンジンオイルの量、及び汚れ。 (12ページ参照)
  - (4)ミッションオイルの量、及び汚れ。 (12ページ参照)
  - (5)ロータリケースオイルの量、及び汚れ。(ロータリ付) (18ページ参照)
  - (6)ファンベルトの張り具合、損傷。 (16ページ参照)

- (7)エアークリーナの汚れ。 (14ページ参照)
- (8)タイヤの空気圧、及び摩耗、損傷。 (16ページ参照)
- (9)各しゅう動部（主クラッチ、テンションアーム支点軸、ワイヤなど）にオイル切れがないか。 (13ページ参照)
- (10)各部の油もれ。
- (11)各部の損傷、及びボルト、ナットの緩み。

### ならし運転 (最初の10アール使用まで)

この期間中は各部になじみをつけるため、エンジンを高速回転させたり、過酷な使用は避け、無理をさせないようにしましょう。

### 定期点検

期間	項目	参照ページ
50時間使用ごと	送油管の点検	
	エアークリーナの点検	14ページ
100時間使用ごと (最初50時間使用後)	エンジンクランクケースのオイル交換	12ページ
	オイルフィルタの掃除	
100時間使用ごと	フューエルフィルタの掃除	10ページ
	エアークリーナの掃除	14ページ
	バルブクリアランスの点検	購入店・農協に依頼
	軸受け、ヘッド、ポンプなどの締付け部点検	
300時間使用ごと	フューエルタンクの掃除	
	エキゾーストバルブのすり合せ・掃除	購入店・農協に依頼
春・秋おのおの使用前 (最初50時間使用後)	トランスミッションケースオイルの交換	12ページ
1000時間使用後	ノズルの掃除	購入店・農協に依頼
	インレットバルブすり合せ・掃除	
	シリンダの掃除	
	ピストンの掃除	
	インジェクションポンプの点検	

燃料について

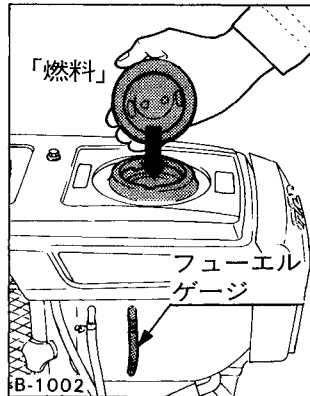
安全ポイント

- 給油中エンジン停止・火気厳禁。

■ 燃料の給油

始動前には、必ず燃料が充分入っているかどうか点検してください。

不足の場合は、フューエルタンクキャップを外して燃料を補給してください。



燃料の種類	満たん容量
クボタディーゼル重油 又はディーゼル軽油	4.7ℓ

なお、クボタディーゼル重油は、コスモ石油・共同石油・日本石油・昭和シェル石油の4社で販売しております。

■ エアー抜き

次のような場合、エアー抜きを行ないます。

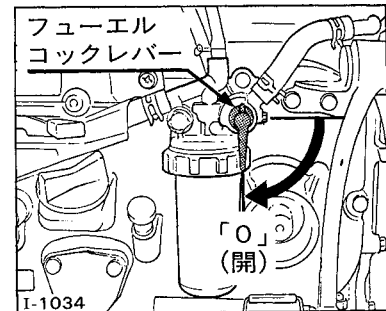
- フューエルフィルタ及び配管を取外したとき。
- 燃料切れが起きたとき。
- テーラーを長期間使用しなかったとき。

◆ エアー抜きの方法

- ① フューエルコックレバーを「C」(閉)から「O」(開)の位置にして約20秒待ちます。

(このフューエルフィルタは自動エア抜き装置付きで、コックを開くとパイプ、フィルタ内のエアが自動的に抜けます。)

- ② 運転はレバー位置を変えないで「O」(開)位置で行ないます。

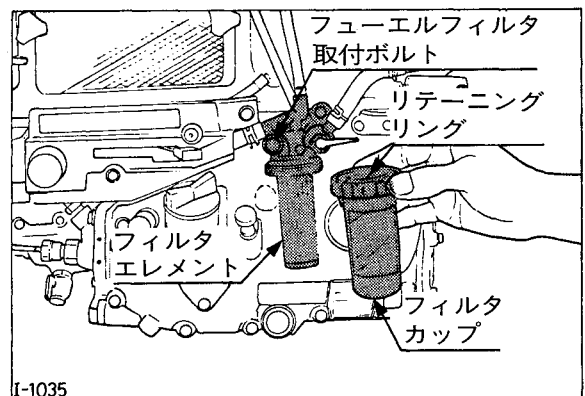


■ フューエルフィルタの清掃

- (1) フューエルフィルタは、燃料のゴミを取除きます。  
取除かれたゴミは、カップの底にたまるか、ろ紙の表面に付着します。
- (2) フューエルフィルタを取外し、カップの上のリテーニングリングを緩めて、カップを外し、カップの底にたまっているゴミや水を捨ててください。
- (3) エレメントは、下方に静かに引張ると取外せます。新しい燃料の中で、すすぎ洗いしてください。

【注意】

- (1) エレメントを乱暴に扱うと傷みますので、注意してください。
- (2) エレメントに穴を開けたときは、新品と取換えてください。穴を開けたままでは、ゴミが入り、インジェクションパイプやノズルの寿命を短くします。



## ラジエータについて

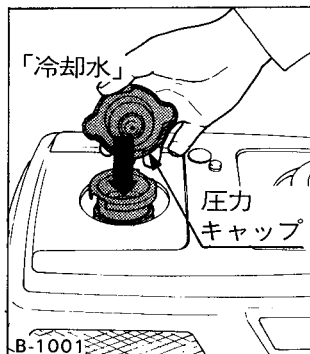
### ■冷却水の点検と給水

冷却水には、飲料水、又は清水を使用します。

点検方法	容量
ラジエータキャップを開けて、給油口いっぱいまであれば適量です。	1.2ℓ

#### 注意

- (1)泥水や塩水は絶対に入れないください。
- (2)冷却水には、必ず保浄剤No.11を入れてください。

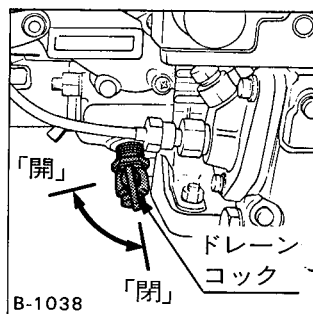


### 安全ポイント

- (1)運転中、及び運転停止直後は、絶対にラジエータキャップを開けないこと。熱湯が噴出してヤケドをすることがあります。
- (2)給水後、ラジエータキャップは確実に締めておいてください。

### ◆冷却水の排水

冷却水を抜くときは、ヘッドの下のドレインコックを開けて、ラジエータキャップを開けますと、冷却水は排出されます。

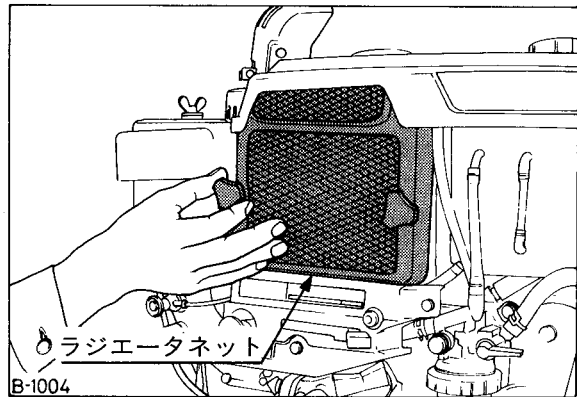


なおそのとき、エンジンを数回ゆり動かすと、いっそう完全に排出できます。

### ■ラジエータネット内部の清掃

ラジエータネットや内部にゴミやホコリがたまると、冷却効果が著しく低下します。

- (1)定期的にラジエータネットを外し、中のゴミやホコリを取除いてください。
- (2)ドライバやヘラを使うと、ラジエータを傷めますので、エアーで吹き飛ばすか圧力水を用いて流し去ってください。



### ■不凍液

氷がはるような寒い季節になると、ラジエータ内の冷却水も凍ることがあります。このようなときは、不凍液を冷却水に混入すると、凍結割れを防止できます。

- (1)最低気温により、混合割合をメーカーの指示どおり決めてください。

- (2)不凍液を使わない場合は、エンジン停止後、必ず冷却水を排出しておいてください。

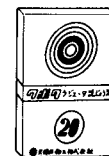


Z-1006改

### ■洗浄剤

#### ◆洗浄剤No.20

ラジエータ内を短時間で洗浄します。



Z-1009

クボタ  
ラジエータ  
洗浄剤 No. 20

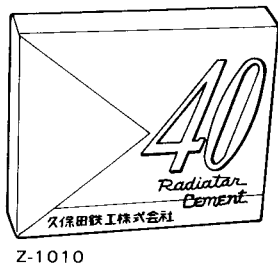
#### 注意

- 不凍液・洗浄剤の使用方法については、現品に記載してあります。



### ■ラジエータセメント

ラジエータのはんだ付けが破れて、水もれしたときに御使用になれば、簡単に止まります。水もれが激しい場合は、販売店・農協に御相談ください。



## 各部の給油・点検とオイル交換

### ■エンジンクランクケースオイル

#### ◆給油のしかた

オイルの種類	点検方法	規定量
クボタ純オイル (ディーゼルエンジン用) D10W30	エンジンを水平状態にし、オイルレベルゲージ上の刻線まで。	1.3ℓ

クボタ純オイルの入手が困難な場合はCC級以上のディーゼルエンジン用オイルをお使いください。その際は、気温により、次のように使い分けます。

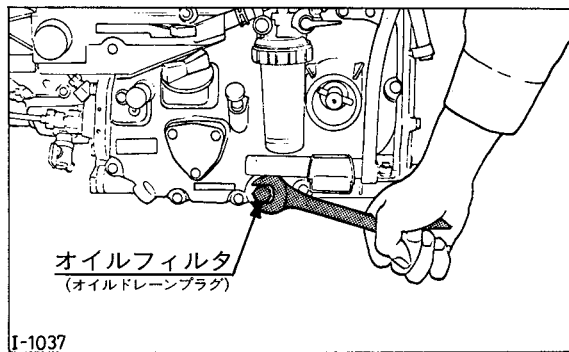


夏	20℃以上	SAE30
春・秋	5°～20℃	SAE20
冬	5℃以下	SAE10W, 又は10W-30

#### ◆オイル交換とオイルフィルタの洗浄

オイル交換と同時に、オイルフィルタの洗浄も行なってください。

- ① オイルフィルタを外して、クランクケース内のオイルを全部排出します。



- ② オイルフィルタとクランクケース内を軽油で洗浄します。
- ③ オイルフィルタを元の通りに取付け、新しいオイルを給油します。

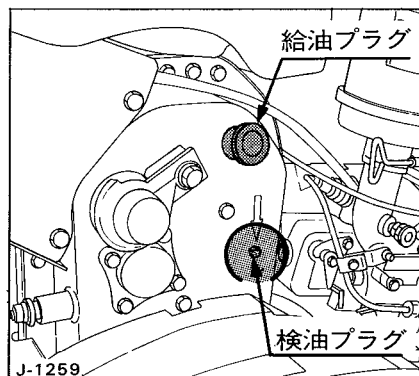
#### ■注意

- 新しいオイルと交換する場合は、ケース内のゴミも同時に排出するようにします。それには、運転使用直後、オイルが暖まって流動しやすい状態のうちに排出しましょう。ゴミがオイルに混じった状態で排出できます。

### ■トランスミッションケースオイル

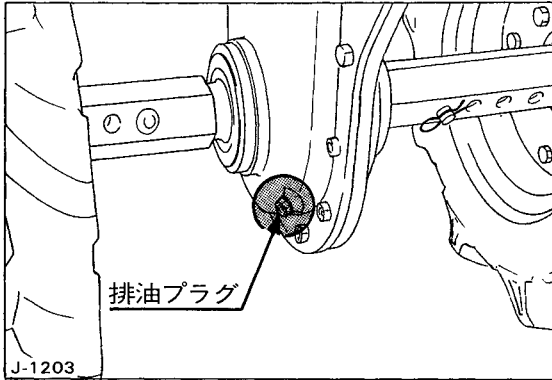
#### ◆給油のしかた

オイルの種類	給油方法	規定量
クボタ純オイル M90又はM80B (ミッション用)	機体を水平にして、給油口より給油。検油プラグからオイルがあふれ出るまで入れる。	約4ℓ



◆排出方法

トランスミッションケース下部の排油プラグを抜いて排出してください。

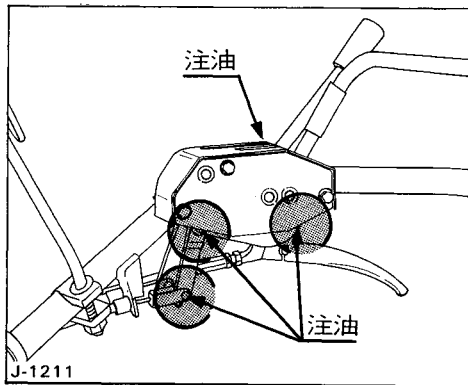


■各支点・ワイヤへの注油

オイルの種類	規定量
クボタ純オイルG30	適量

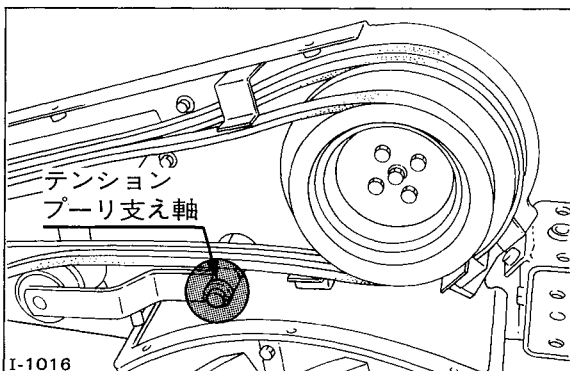
◆主クラッチレバー支点の注油

主クラッチレバーの作動を円滑にするため、主クラッチの作動軸に注油してください。



◆テンションプーリ支え軸の注油

テンションプーリの作動をよくし、主クラッチの「入」「切」を円滑に行なうため、テンションプーリ支え軸に注油してください。

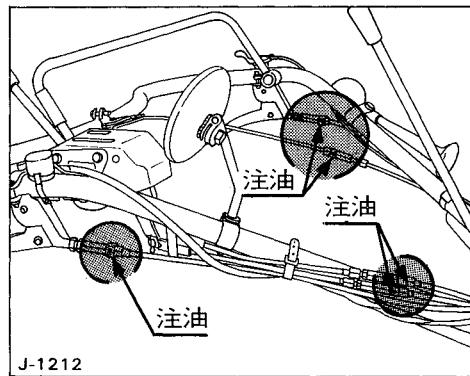


**安全ポイント**

- (1)ベルトカバーを取外した場合は、必ず取付けてから作業をしてください。
- (2)ベルトカバーを外したまま、エンジンを始動しないでください。

◆各種ワイヤの注油

操向クラッチワイヤ、主クラッチワイヤ、ブレーキワイヤなどには、調節金具の箇所注油口がありますから、注油してください。



◆その他のしゅう動部

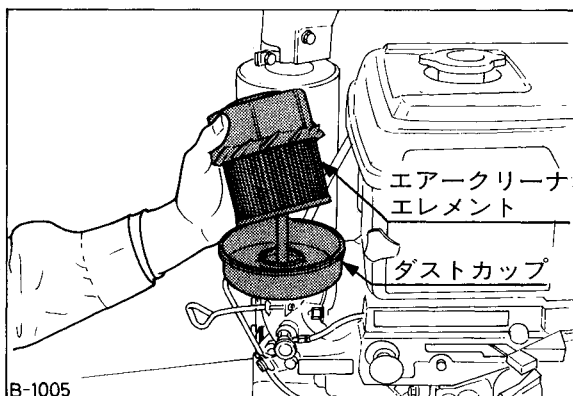
その他、接合部など各しゅう動部分にも、適量注油してください。

## エアークリーナの清掃

- (1)ダストカップにたまったゴミを捨て、内部をきれいにふいてください。
- (2)エアークリーナエレメントは、軽くたたきながらゴミを落とすか、又はエレメントを回しながら、圧縮空気を内側から吹付けてください。

カーボンや油分の多い場合は、中性洗剤に15分間浸してから、数回ザブ洗いを行ない、ザブ洗いのあと清水でよくすすいでから、風通しのよい場所で自然乾燥してください。乾燥のとき、圧縮空気や火気は使用しないでください。

- (3)エレメントは、1年ごとか、又は6回清掃後、新品と交換してください。
- (4)エレメントに穴を開けたときは、新品と交換えてください。穴を開けたままで使用すると、エンジンの寿命を短くします。



## 使用後の清掃

- (1)使用後は、必ずその日のうちに機体の清掃を行ない、各部についている泥を洗い落とします。
- (2)水洗後は、必ず水をふき取り、摩擦しゅう動部がさびないように油脂を塗布してください。

## 長期格納時の手入れ

使用後の清掃と同じく、各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし、各部の水分を乾いた布などで十分にぬぐい取り、摩擦しゅう動部、及び塗料のはがれたところなどには、さびないように油脂を塗布してください。

その他、次の事項について手入れしてください。

- (1)主クラッチレバーは「切」の位置にして、保管してください。
- (2)フューエルコックレバーを「C」にして燃料を止めておいてください。
- (3)冷却水を完全に抜き取ってください。
- (4)エンジンオイルを交換し、各部をきれいに清掃します。
- (5)エアークリーナエレメントは、きれいに清掃してください。ゴミがこびりついて次回の使用の際、清掃が困難になります。
- (6)エンジンのシリンダ内に湿気が入ると、来期の始動が困難になるので、スタートハンドルを回し、圧縮位置にしておいてください。
- (7)カバーをかけ、湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で、かけてください。

### 安全ポイント

- 小部屋に格納しようとするときは火災の危険があるため、エンジンが冷えてからにしてください。

### 注意

- 凍結割れの心配がない場合は、冷却水を抜く必要はありません。不凍液が入っている場合もそのまま結構です。

# 保守と調節

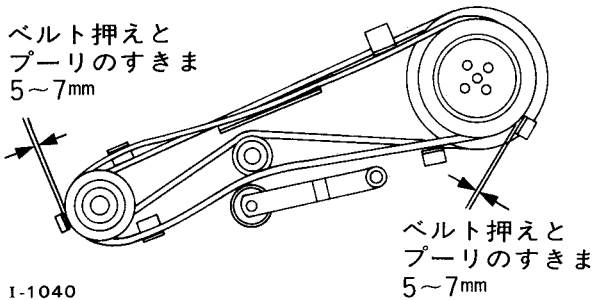
## 主クラッチの調節

主クラッチレバーは、運転操作の源となる重要なレバーです。

運転の場合にエンジンの動力を十分に伝達し、又停止の場合は、確実に停止するように次の事柄について調整してください。

### ■ベルト押えの調節

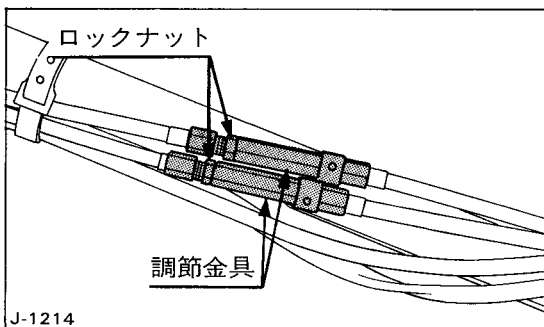
主クラッチを入れた状態で、ベルトと上下ベルト押えの間隔を、下図のように調節してください。



### ■主クラッチワイヤ

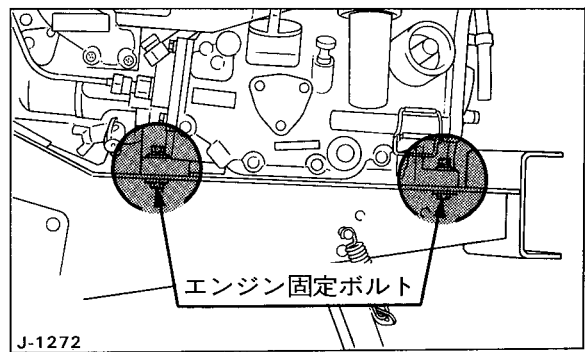
主クラッチレバーを入れてもベルトがスリップする場合、又主クラッチレバーが重すぎる場合などには、主クラッチワイヤの調節金具でベルトの張り具合を調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
ベルトの張り強さ	主クラッチを入れた状態で、ベルト中央部を指で押えて約1cmたわむ程度。



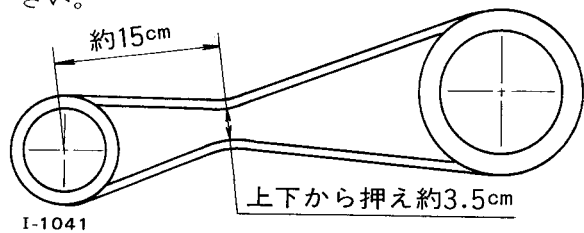
## ■エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり、又は新しいベルトに取換えた場合などにおいて、主クラッチワイヤやベルト押え金具で主クラッチの調節ができない場合は、エンジンを前後に移動調節できますので、エンジン固定ボルト4本を緩めて調節してください。調節後は確実にボルトを締付けてください。



## ■新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は、高低2本のベルトを同時に交換し、ベルトのたわみ代は、エンジンプリー側から約15cmの位置で、約3.5cmになるよう、エンジンを移動させて調節してください。

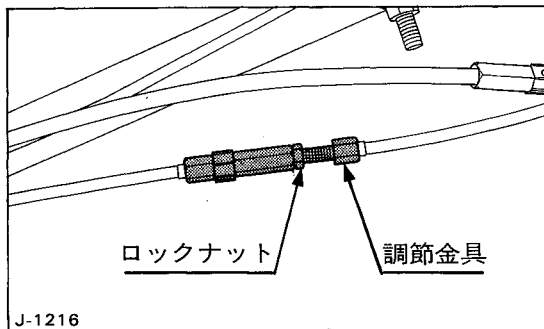


### 安全ポイント

- (1)ベルト調節、ベルト掛換えを行なう場合は、必ずエンジンを停止して行なってください。
- (2)調整と各部の締付けが終ってからの確認は、主クラッチを切り、エンジンを始動して、主クラッチ「入」のときベルトが作動し、「切」のときに停止するか確認してください。
- (3)調整、掛換えが終わったら、必ずベルトカバーを取付けてください。

## 駐車ブレーキの調節

ブレーキレバーを握り、ロック金具を作用させると駐車ブレーキになりますが、ブレーキがききにくい場合は、次の要領で調節してください。調節金具のロックナットをゆるめ、左に回して長く引き出し、確実にきくことを確認します。調節後は、調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

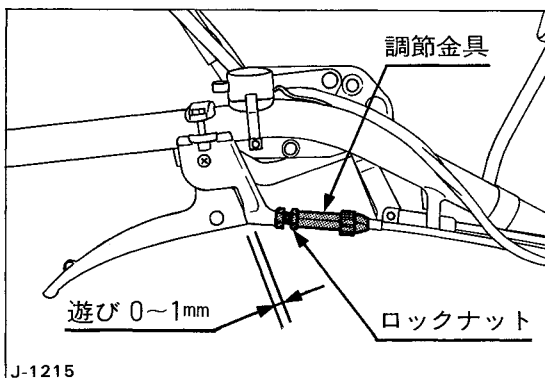


## 操向クラッチの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合、又操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合は、調節金具のロックナットを緩めて調節します。

操向クラッチ	調節金具
切れにくい場合	長くする。
入りにくい場合	短くする。
適正な調節	操向クラッチが完全に入っていることを確認して、レバーの遊びが0～1mm程度になる。

調節後は調節金具のロックナットを確実に締付けてください。



## ファンベルトの張り調節

ベルトが緩んだまま運転しますと、ベルトがスリップし、エンジンの冷却能力が低下するばかりか、寿命を短くしますので、常に点検調節してください。

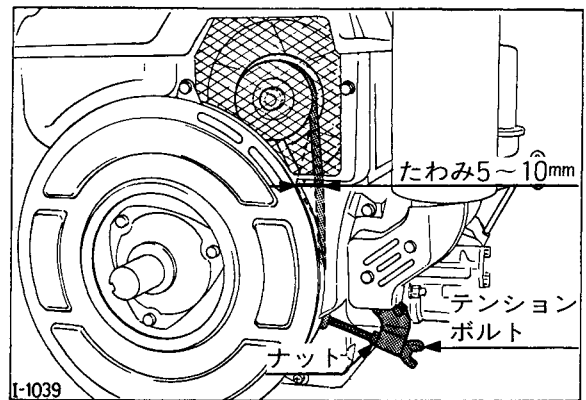
適正張り強さ	プーリとプーリの間を指で押さえて、5～10mmたわむ程度。
--------	-------------------------------

### ◆調節方法

- ① ナットを緩める。
- ② テンションボルトを右に回して、ベルトを張ります。
- ③ ナットを固く締付けます。

### ■注意

- ファンベルトが切れた場合、切れてからしばらくすると、ラジエータ内の蒸気が噴出し続けますので、すみやかにエンジンを停止してください。



## タイヤの空気圧の調節

空気圧が高すぎても低すぎても、タイヤの寿命を縮めますから、定期的に空気圧を調べ、適正になるように調節してください。

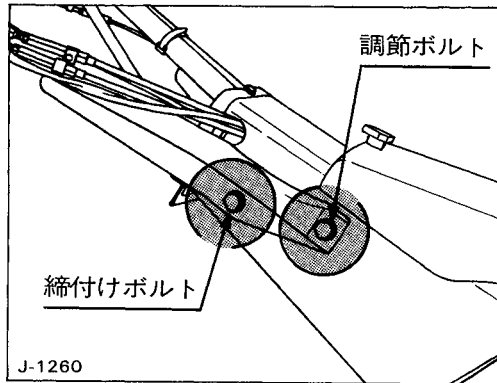
適正空気圧	1.2kg/cm <sup>2</sup>
-------	-----------------------

空気を入れるには、エアーコンプレッサ、又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

## 手元ハンドルの上下調節

手元ハンドルの高さは、3段に調節できます。締付けボルトを緩め、調節ボルトを抜き、使いやすい位置に調節します。

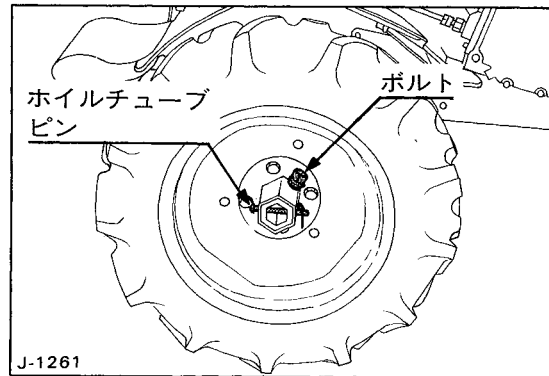
調節後は、調節ボルトと締付けボルトを確実に締付けてください。



## 車輪間隔調節と車輪交換

作業条件に応じて、車輪間隔調節と車輪交換は次のとおり行ないます。

車輪ハブと六角ホイールチューブは、ピン1本とボルトで取付けてありますので、ボルトを緩めホイールチューブピンを抜いて、車輪間隔の調節や交換を行なってください。



### 安全ポイント

- (1)必ずエンジンを停止して行なってください。
- (2)車輪交換は平坦な場所で行なってください。

# ロータリ装置の取扱い【ロータリ付仕様】

## 給油と点検

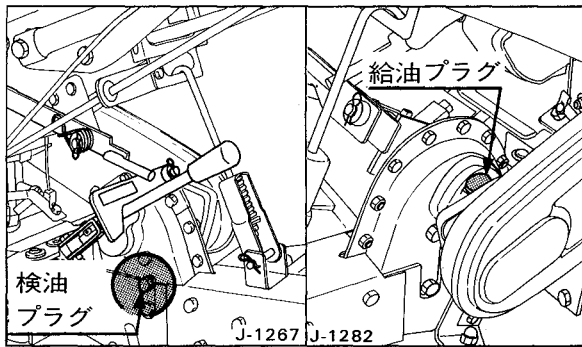
### ■ロータリケース

最初50時間使用後に、その後は春・秋それぞれの使用前にオイルを交換してください。

#### ◆給油のしかた

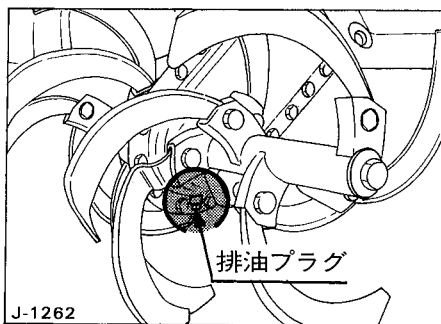
ロータリケース上部の給油プラグを外して給油します。

オイルの種類	給油量
クボタ純オイル (ミッション用) M90又はM80B	前フレームを地面に付けて、 検油プラグまで入れる。 (規定量0.8ℓ)



#### ◆排油のしかた

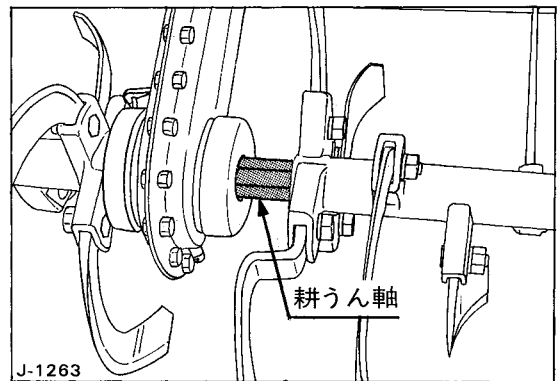
ロータリケースの排油プラグを抜いて排出します。排出後はプラグを元のように締付けてください。



### ■耕うん軸

耕うん軸に油を塗布しておくこと、爪軸の着脱が楽になります。

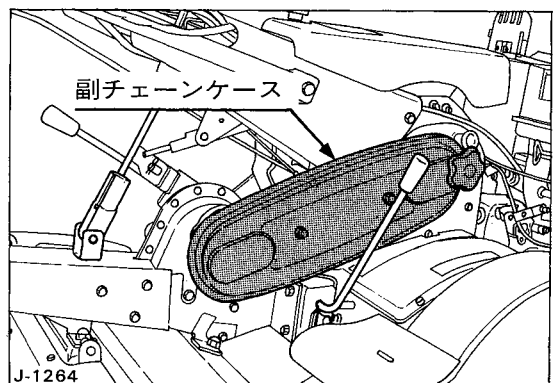
オイルの種類	給油量
クボタグリース、又は クボタ純オイルG30	適量



### ■副チェーンケース

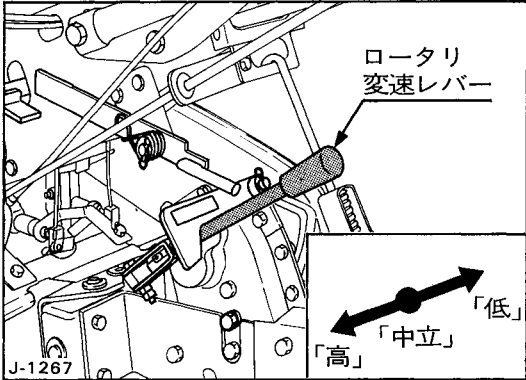
50時間ごとに、副チェーンケースカバーを外し、良質グリースを適量補充してください。

オイルの種類	給油量
クボタチェーングリース 又は良質グリース	適量



**ロータリ変速レバー**

ロータリ変速レバーを「低」「高」の位置にすると、爪軸が回転します。「中立」に戻すと停止します。



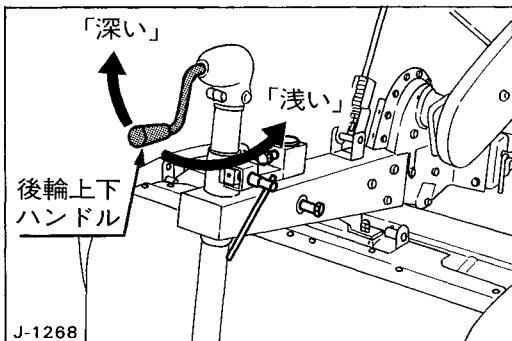
**安全ポイント**

- ロータリ変速レバーが「低」「高」のときは、けん制装置の作用により、主変速レバーは「後進」に入りません。後進の場合は、必ずロータリ変速レバーを「中立」にして、爪回転が止まっていることを確認の上で行なってください。

**後輪上下ハンドル**

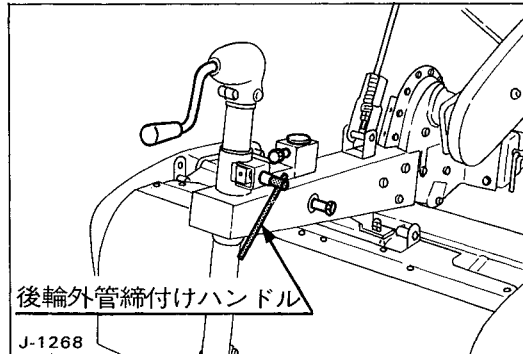
耕うん深さの調節を行なうハンドルです。

右に回す。	耕うんが深くなる。
左に回す。	耕うんが浅くなる。



**後輪外管締付けハンドル**

前記の後輪ハンドルは微量調節用で、多量に調節する場合は、この後輪外管締付けハンドルを緩め、外管を上下させることによって調節します。

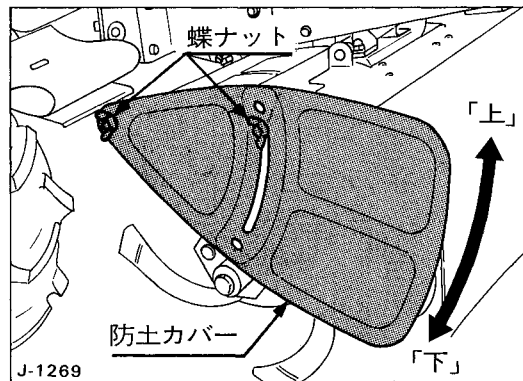


**防土カバーの上下調節**

畝立て耕うんや内盛り耕うんなど、耕うん条件によってカバーを上下調節すると、耕うん作業を楽に行なうことができます。

調節は、防土カバー取付けの蝶ナットを緩めてします。

耕うん爪の向	作業の種類	カバーの位置
外向き	荒起し 畝立て耕うん	カバーを上げる
内向き	内盛り耕うん 代かき作業	カバーを下げる





## 副チェーン sprocket の前後入換え

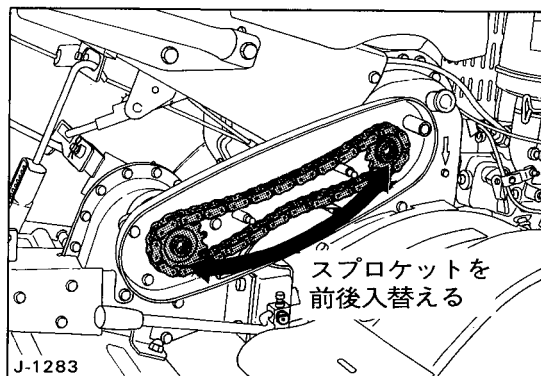
### 安全ポイント

- 入換えは、平たんな場所で行なってください。

碎土のあらさは、ロータリ変速レバーで「高」「低」2段の変速ができますが、いっそう細かい碎土を必要とする場合は、副チェーンケースを次の通りに前後入換えてください。

- ①取付けボルト3本を抜いて、カバーを外します。
- ②sprocketの前後を入換えます。
- ③カバーを元のように取付けます。

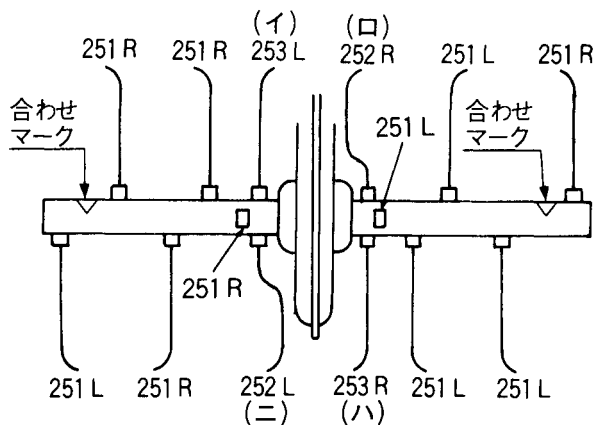
大きいsprocketが後の場合	爪回転が遅くなり、碎土があらくなる。
小さいsprocketが後の場合	爪回転が早くなり、碎土が細かくなる。



## 耕うん爪の取付け方

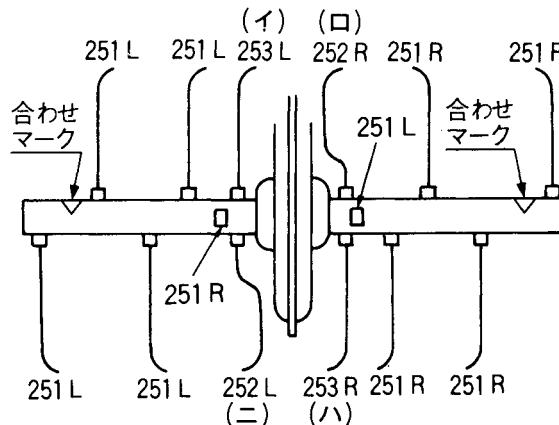
- (1)爪軸ブラケットと耕うん爪の番号を合せ、間違いのないように取付けてください。
- (2)爪軸は、左右の合せマーク(白色)が一行になるように組付けてください。

### ◆平面耕うん・畝立て、畝くずし作業の場合



I-1090

### ◆後二輪を使って内盛り耕うんを行なう場合



I-1091

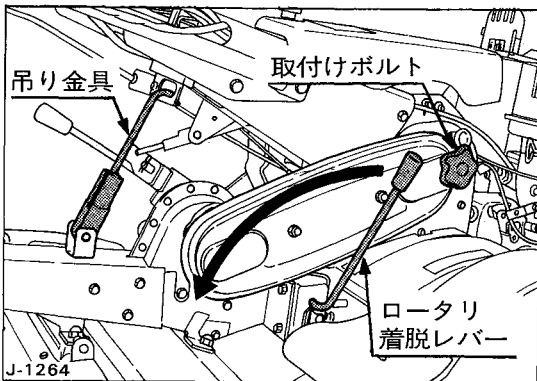
## ロータリ部の取外し・取付け

### 安全ポイント

- 取外し・取付けは、平たんな場所で行なってください。

### ■ロータリ部の取外し方

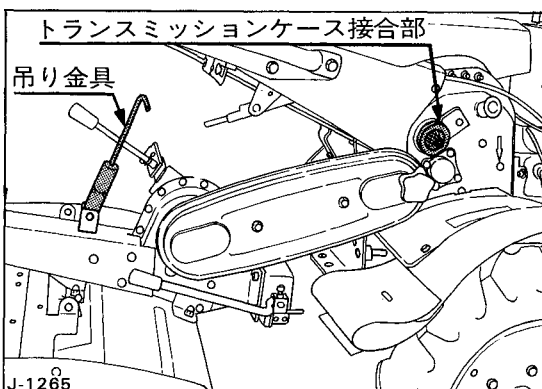
- ① スタンドを立てて機体を安定させる。
- ② 副チェーンケースと主ギヤケースの取付けボルトを外す。
- ③ レバーを矢印の方向に回す。



- ④ ハンドルを少し押し下げて、機体を左右に振って、トランスミッションケースと副チェーンケースを離し、
- ⑤ ハンドルを下げ、吊り金具を外してロータリ部を後方に取外してください。

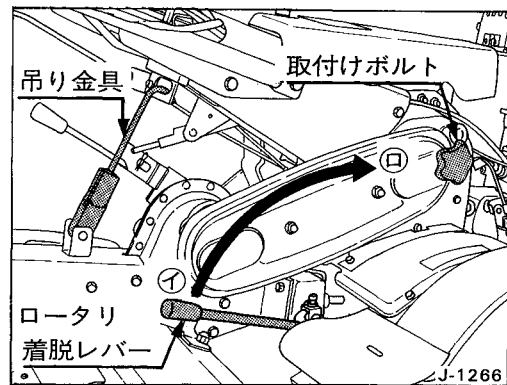
### 安全ポイント

- 取外しが終わったら、主ギヤケース側の接合部にキャップ（付属品箱に入っている）を、安全のために取付けてください。



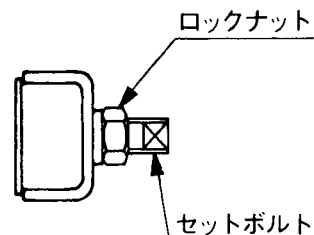
### ■ロータリ部の取付け方

- ① ロータリに付いている吊り金具を、ハンドル引掛け部に取付ける。
- ② スタンドを引込めて、ロータリ部を吊り下げたまま、機体を前方に傾斜させる。
- ③ ロータリ部のヒッチ受け座を、本機のヒッチに入れ、副チェーンケースとトランスミッションケースとの接合部を合せて押込んでから、取付けボルトで仮止めする。
- ④ レバーをⓐの位置に回して、ロータリ部を固定し、次に副チェーンケース取付けボルトを十分に締付ける。



### 注意

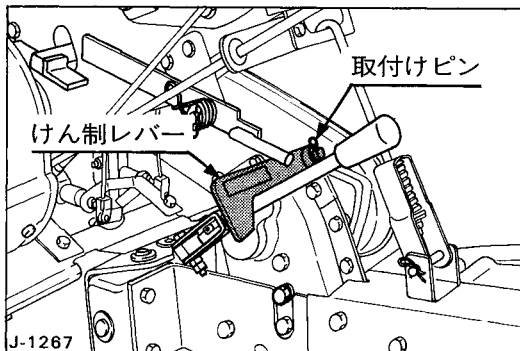
- (1) ロータリ部を取付けるとき、レバーは必ず㉑の位置にしておいてください。
- (2) 出荷時、十分な調整を行なっていますが、ロータリ部を取付けた状態で、ロータリ部全体がガタつく場合、ロックナットを緩めて、セットボルトを多少(1/4~1/2回転程度)増締めして、ロックしてください。(左右2カ所) 又、レバーが重くて作動しない場合は、逆にセットボルトを多少(1/4~1/2回転程度)緩めて、ロックしてください。(左右2カ所)



## 爪けん制の解除

耕うん作業を安全に行なうために、爪けん制装置を設けています。

しかし、畝くずしなどで、後進しながら爪を回転させる必要がある場合は、ロータリのけん制レバーの取付けピンを外して、レバーを取外してください。



**安全ポイント**

- 後進で爪回転させることは、大変危険です。なるべく使用しないようにしてください。やむをえず使用するときは、使用后、必ずけん制装置を元に戻し、後進で爪が回転しないように注意してください。

# 付表

## アタッチメント一覧表

### ■車輪類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92056-0031-0	60パイプ車輪完備	外径60cm ラグ幅12cm ラグ数10	畑, 乾田のすき耕	(Z)T4,(Z)T6
92056-5031-0	65パイプ車輪完備	外径65cm. ラグ幅12cm ラグ数11	畑, 乾田のすき耕	(Z)T4,(Z)T6
92056-0041-0	60パイプ車輪2形完備	外径60cm ラグ幅16.5cm ラグ数10	乾田, 半湿田のすき耕	(Z)T4,(Z)T6
92056-5041-0	65パイプ車輪2形完備	外径65cm ラグ幅16.5cm ラグ数11	乾田, 半湿田のすき耕	(Z)T4,(Z)T6
92057-5013-0	75マルチ車輪完備	外径75cm	高畝マルチ	(Z)T4,(Z)T6
92059-5011-0	95マルチ車輪完備	外径95cm	高畝マルチ	(Z)T4,(Z)T6
92066-0011-0	501水田車輪完備	外径60cm ラグ幅17cm ラグ数9	水田, 半湿田の ロータリ耕うん, 代かき	(Z)T5,(Z)T7
92066-5015-0	502水田車輪完備	外径65cm ラグ幅17cm ラグ数9	水田, 半湿田の ロータリ耕うん, 代かき	(Z)T5,(Z)T7
92066-5014-0	65水田車輪完備	外径65cm ラグ幅15cm ラグ数8	水田, 半湿田の ロータリ耕うん, 代かき	(Z)T5,(Z)T7
93066-7018-0	670湿田車輪完備	外径67cm ラグ幅17cm ラグ数9	水田, 湿田の ロータリ耕うん, 代かき	(Z)T5,(Z)T7
93067-2012-0	720湿田車輪完備	外径72cm ラグ幅19cm ラグ数9	水田, 湿田の ロータリ耕うん, 代かき	(Z)T5,(Z)T7

### ■代かきロータ類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92160-0031-0	211代かきロータ完備	外径45cm, 取付け幅95cm	碎土, 代かき整地	(Z)T4,(Z)T6
92160-0032-0	212代かきロータ完備	外径45cm, 取付け幅105cm	碎土, 代かき整地	(Z)T4,(Z)T6
92160-0035-0	215代かきロータ完備	外径45cm, 取付け幅130cm	碎土, 代かき整地	(Z)T4,(Z)T6
92160-0039-0	216双子ロータ完備	外径45cm, 取付け幅122cm	碎土, 代かき整地	(Z)T4,(Z)T6
92044-2011-0	214カゴ車輪	外径42cm	碎土, 代かき整地	(Z)T4,(Z)T6

### ■湿田・田打ちロータ類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92161-0032-0	255湿田ロータ完備	外径45cm, 取付け幅140cm	湿田耕起	(Z)T4,(Z)T6
92161-0021-0	253田打ちロータ完備	外径45cm, 取付け幅145cm	湿田耕起	(Z)TD6

## ■ラセンすき・畝作り用ロータ類

〔※印は中耕ロータリ(品番92201-3011-0)及びフロントハンドル(品番91314-4011-1)と併用してください。〕

	品番	品名	仕様	用途	兼用機種
※	92191-1051-0	タバコロータ		タバコ、野菜の畝盛り	(Z)TD6
※	92191-1052-0	タバコロータ、土寄せ		タバコの土寄せ	(Z)TD6
	92170-1023-0	ラセンすき	外径38cm	畝盛り、掘割り	(Z)T4,(Z)T6
	92191-1109-0	ラセンすき用ロータリチューブ		ラセンすき装着用	(Z)TD6
	92192-0029-0	4枚分割ロータリプラウBKT付き	外径39cm	畝盛り、掘割り	(Z)T4,(Z)T6
	92192-0031-0	3枚分割ロータリプラウBKT付き	外径39cm	畝盛り、掘割り	(Z)T4,(Z)T6
	93192-0303-0	ロータリチューブ		ロータリプラウ装着用	(Z)TD6
※	92191-1055-0	2畝ロータ		タバコ、野菜の畝盛り	(Z)TD6
※	92191-1053-0	平畝ロータ140		平高畝盛り	(Z)TD6
※	92191-1054-0	平畝ロータ160		平高畝盛り	(Z)TD6
	92191-1057-0	平畝ロータ200		平高畝盛り	(Z)TD6

## ■すき類

	品番	品名	仕様	用途	兼用機種
	92242-1001-0	松山双用2段すき	耕幅 18cm 耕深 18cm	水田、畑地のすき耕	(Z)T5,(Z)T7
	92242-2001-0	高北双用2段すき	耕幅 18~24cm 耕深 14~20cm	水田、畑地のすき耕	(Z)T5,(Z)T7

## ■畝立て機類

〔※印は中耕ロータリ(品番92201-3011-0)及びフロントハンドル(品番91314-4011-1)と併用してください。〕


	品番	品名	仕様	用途	兼用機種
※	92221-7022-0	畝立て機4号	みぞ幅 12cm	水田、畑地の畝立て	(Z)TD6
※	92221-7023-0	畝立て機5号	みぞ幅 15cm	水田、畑地の畝立て	(Z)TD6
	92220-7011-0	畝立て機4号	みぞ幅 12.5cm	水田、畑地の畝立て	(Z)T5
	92220-7012-0	畝立て機5号	みぞ幅 15cm	水田、畑地の畝立て	(Z)T7

## ■畝整形板類

〔※印は中耕ロータリ(品番92201-3011-0)及びフロントハンドル(品番91314-4011-1)と併用してください。〕

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
※ 92221-5073-0	内盛り整形板20	畝高さ 15~28cm 畝すそ幅 40~60cm	タバコ, 一般野菜の畝盛り	(Z)T6
※ 92221-5044-0	内盛り整形板25	畝高さ 25~28cm 畝すそ幅 50~70cm	タバコ, 一般野菜の畝盛り	(Z)T6
※ 92221-5072-0	内盛り整形板30	畝高さ 30~33cm 畝すそ幅 60~80cm	タバコ, 一般野菜の畝盛り	(Z)T6
※ 92221-5046-0	内盛り整形板35	畝高さ 35~38cm 畝すそ幅 60~80cm	タバコ, 一般野菜の畝盛り	(Z)T6
※ 92221-5064-0	2畝整形板	畝高さ 15~28cm 畝すそ幅 40~60cm	タバコ, 一般野菜の畝盛り	(Z)T6
※ 92221-5063-0	平高畝整形板内盛り160	畝高さ 15, 20, 25, 30cm 畝肩幅 40~110cm	一般野菜の平高畝盛り	(Z)T6
※ 92221-5053-0	平高畝整形板外盛り45	みぞ底幅 25~45cm	広幅みぞ, 畝作り	(Z)T6
※ 92221-5054-0	平高畝整形板外盛り70	みぞ底幅 50~70cm	広幅みぞ, 畝作り	(Z)T6
※ 92221-5037-0	外盛り整形板17	みぞ底幅 17cm	タバコ, 野菜の培土	(Z)T6
※ 92221-5035-0	外盛り整形板24	みぞ底幅 24cm	タバコ, 野菜の培土	(Z)T6
※ 92221-5067-0	平高畝整形板内盛り200			(Z)T6
92220-3012-0	ロータリ畝整形板			(Z)K62

## ■ロータリ類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92206-1011-1	T D 502固定形ロータリアッシ	耕うん幅 60cm 耕深 9~12cm	水田の耕起, 代かき畑作の管理作業	
92201-3011-0	中耕ロータリ	耕うん軸六角  26.4mm		(Z)TD6

## ■ハロー・レーキ類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92270-1019-0	スプリングレーキ完備	全幅 120cm	畑, 水田の碎土整地	(Z)T4, (Z)T6
92270-1011-0	整地板付きスパイクハローC	全幅 94cm	畑, 水田の碎土整地	(Z)T4, (Z)T6
92270-1101-0	スパイクハローC	全幅 100cm	畑, 水田の碎土整地	(Z)T4, (Z)T6

## ■ マルチ類

※印は中耕ロータリ(品番92201-3011-0)及びフロントハンドル(品番91314-4011-1)と併用してください。

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
※ 92280-3002-0	クボタ高畝マルチ2形	畝高さ 15~40cm 畝すそ幅 50~100cm	タバコ、野菜のマルチ作業	(Z)T6
※ 92280-2057-0	高畝同時マルチ2形	畝高さ 30~35cm 畝すそ幅 70~85cm	タバコ、野菜の高畝盛り同時マルチ作業	(Z)TD6
※ 92280-5001-0	汎用高畝マルチ	畝高さ 20~35cm 畝すそ幅 40~80cm	タバコ、野菜の高畝盛り同時マルチ作業	(Z)T6
※ 92280-2074-0	平畝同時マルチ95	畝高さ 0~20cm, ビニールシート幅 65~95cm	野菜の平畝盛り同時マルチ作業	(Z)TD6
※ 92280-2075-0	平畝同時マルチ135	畝高さ 0~20cm, ビニールシート幅 95~135cm	野菜の平畝盛り同時マルチ作業	(Z)TD6
※ 92280-2076-0	平畝同時マルチ180	畝高さ 0~20cm, ビニールシート幅135~180cm	野菜の平畝盛り同時マルチ作業	(Z)TD6
92280-5012-0	けん引マルチF形			(Z)T4
※ 92280-5002-0	汎用広幅高畝マルチアッシ			(Z)TD6
※ 92280-5051-0	汎用平畝マルチアッシ			(Z)TD6

## ■ 施肥・播種機他

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92410-7011-0	施肥機		粉体, 粒体, 肥料施肥	(Z)T4,(Z)T6
92601-1011-0	土壌消毒機	2条, 注入間隔 30cm	土壌の殺虫, 殺菌	(Z)T4,(Z)T6
91410-1025-0	種まきゴンベエ2E	2条, 小粒子用	各種種まき	(Z)T4,(Z)T6
91410-1022-0	種まきゴンベエ2L	2条, 大粒子用	各種種まき	(Z)T4,(Z)T6
91410-1023-0	種まきゴンベエ4E	4条, 小粒子用	各種種まき	(Z)T4,(Z)T6
91410-1024-0	種まきゴンベエ4L	4条, 大粒子用	各種種まき	(Z)T4,(Z)T6

## ■ その他

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92316-0012-0	サポート			(Z)T4,(Z)T6
92316-0013-0	延長ヒッチ完備			(Z)T4,(Z)T6
92316-1015-0	湿田抵抗棒			(Z)T4,(Z)T6
91314-4011-1	フロントハンドル		中耕ロータリ併用	
92221-5049-0	内盛り整形板用尾輪			(Z)T4,(Z)T6

## オプション部品

品番	品名	仕様	兼用機種
62081-8110-0	バランスウエイト完備	(1)+(2)=20kg	T45・(Z)T4
62081-8120-0	バランスウエイト(1)完備	12kg (ヒッチピン付き)	T45・(Z)T4
62081-8130-0	バランスウエイト(2)完備	8 kg (ヒッチピンなし)	T45・(Z)T4
62081-8140-0	バランスウエイト(2)単完備	8 kg (ヒッチピン付き)	T45・(Z)T4
62071-8112-0	ホイールウエイト完備	6 kg×2コ	T45・(Z)T4
62081-8331-0	丸ホイールチューブ	丸ハブ車輪装着用	T45・(Z)T4
62081-8334-0	六角ホイールチューブ165	チューブ長さ 16.5cm	T45・(Z)T4
62081-8335-0	六角ホイールチューブ281	チューブ長さ 28.1cm	T45・(Z)T4
62088-8310-0	プーリボス完備	動力取出し用 (PTO軸側)	T45・(Z)T4
63313-8411-1	平プーリ75マル		(Z)K7・(Z)T6
63313-8412-1	平プーリ90マル		(Z)K7・(Z)T6
62571-5260-1	ユニバーサルヒッチアッシ		T55・(Z)T6
62561-8310-1	フロントヒッチ完備		(Z)T6
62551-8302-1	ホイールチューブ完備	チューブ長さ 24.3cm	(Z)T6

## 標準付属品

品名	数量/台	備考
10-12スパナ	1	
13スパナ	1	
14-17スパナ	1	
10-12ボックススパナ	1	
ドライバ	1	+, -差換え式
プライヤ	1	
油差し	1	
ヒッチピン前	1	
スナップピン	1	
取扱説明書	1	
純正部品表	1	
保証書	1	
納入品安全説明書	1	
安全注意ポスタ	1	
安全憲章コンブ	1	安全五憲章入り



## 主要諸元

型	式	TD502		
呼	称	(Z)TD502	(Z)TD502-R	
機 体 寸 法	全	長	1855mm	
	全	幅	705mm	
	全	高	1155mm	1230mm
	輪	距	585～635mm	
重	量	155kg	212kg	
エ ン ジ ン	名	称	クボタE50-T2	
	形	式	水冷4サイクル1気筒横形ディーゼル	
	総	排気量	309cc	
	出	力／回転速度	5馬力／2200回転毎分	
	使	用燃料	クボタディーゼル重油又はディーゼル軽油	
	燃	料タンク容量	4.7ℓ	
	始	動方式	2.5倍増速ハンドル式手動	
タ	イ	ヤ	4.00-12	
主	ク	ラッチ方式	ベルトテンション	
操	向	ク	ラッチ方式	爪クラッチ
制	動	方	式	内部拡張式
変 速 段 数	前	進	6段	
	後	進	2段	
	耕	うん	—	4段 (副チェーンケース入替えを含む)
P	T	O	回	転速度
		低：692回転／分 高：1740回転／分		
ロ ー タ リ	駆	動方式	—	センタドライブ
	耕	幅	—	400mm

## ■速度表

エンジン回転速度 2200回転/分

変速	車軸回転速度	速度		主な作業	
前進	※ 1速	10.3回転/分	16.6m/分	1 km/時	ロータリ耕うん
	※ 2速	14.4回転/分	23.3m/分	1.4km/時	ロータリ耕うん
	3速	25.9回転/分	41.8m/分	2.5km/時	すき耕
	4速	36.3回転/分	58.6m/分	3.5km/時	すき耕
後進	※ 5速	54.6回転/分	88.2m/分	5.3km/時	ロータ耕・代かき
	6速	137.3回転/分	221.7m/分	13.3km/時	トレーラ運搬(最高速度14.2km/時)
後進	※ R1速	10.4回転/分	16.8m/分	1.1km/時	移動
	R2速	26.2回転/分	42.3m/分	2.5km/時	トレーラ運搬

**注** (1)前進6速・後進R2速はトレーラ作業時のみ使用してください。

(2)※印は副変速「低速」です。

## ■ロータリ回転速度【ロータリ付仕様】

ロータリ変速	副スプロケット	
	前 11枚×13枚	後 13枚×11枚
低	204回転/分	285回転/分
高	251回転/分	351回転/分

### 注意

- ロータリ作業は副変速「低」(前進1・2速)で使用してください。3・4・6速はロータリが高速回転して危険です。

オイルは **クボタ純オイル**をお使いください。

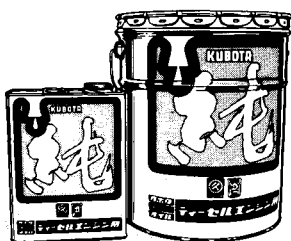
オイルは、テラーの開発研究から生まれたクボタ純オイルを、必ずお使いください。  
市販のオイルを御使用になりますと、あなたの大切なテラーの寿命を縮めることがあります。

■エンジンには……

**クボタ純オイル**

ディーゼルエンジン用

D10W30



4ℓ

20ℓ

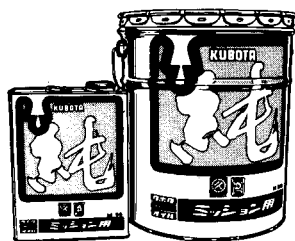
Z-1002

■テラー本体には……

**クボタ純オイル**

ミッション用

M90又はM80B



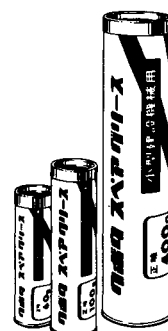
4ℓ

20ℓ

Z-1004

■グリースアップには……

**クボタスペアグリース**



60

100

400

Z-1005

お買い求めは、販売店・農協またはコスモ石油・日本石油・共同石油・昭和シェル石油の  
スタンドに御用命ください。

## 純正部品を使いましょう

農業機械の補修には、  
安心して御使用いただける純正部品を、お買い求めください。  
市販類似品を御使いになりますと、  
機械の不調や、あなたの大切な機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、  
あなたの機械に一番よくマッチするように研究され、  
厳重な検査を受けてから出荷されますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品を御使いになりますと、  
作業能率の低下やあなたの機械の寿命を短くする原因になります。

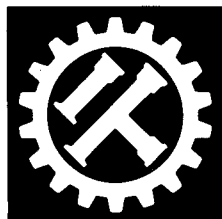
(Z)TD502・502-R

S . + . 6 - 11 . 3 . AK



# 久保田鉄工株式会社

本社	：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号	〒556-91	電(06)	648-2111
東京本社	：東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号	〒103	電(03)	245-3111
北海道支店	：札幌市中央区北3条西3丁目1番地44 (札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東北支店	：仙台市本町2丁目15番11号	〒980	電(0222)	67-9000
中部支店	：名古屋市中村区名駅3丁目22番8号 (大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九州支店	：福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号 (住友生命博多ビル)	〒812	電(092)	473-2401
内燃機器札幌支店	：札幌市西区手稲東3北3丁目2番地2	〒063	電(011)	662-2121
内燃機器仙台支店	：名取市田高字原182番地の1	〒981-12	電(02238)	4-5151
内燃機器秋田支店	：秋田市寺内字大小路207番地54号	〒011	電(0188)	45-1601
内燃機器東京支店	：浦和市西堀1228番地	〒338	電(0488)	62-1121
内燃機器新潟支店	：新潟市上所上1丁目14番15号	〒950	電(025)	285-1261
内燃機器名古屋支店	：愛知県一宮市観音町1番地1	〒491	電(0586)	24-5111
内燃機器金沢支店	：石川県松任市下柏野町956-1	〒924	電(0762)	75-1121
内燃機器岡山支店	：岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
内燃機器米子支店	：米子市米原569番地	〒683	電(0859)	33-5011
内燃機器福岡支店	：福岡市東区和白丘2丁目2番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
内燃機器熊本支店	：熊本県下益城郡富合町大字廻江846番地の1	〒861-41	電(096)	357-6181
内燃機器高松支店	：香川県綾歌郡国分寺町国分字向647の3	〒769-01	電(08787)	4-5091
堺製造所	：堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	：宇都宮市平出工業団地22番地2	〒321	電(0286)	61-1111
筑波工場	：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752)	5112
枚方製造所	：枚方市中宮大池1丁目1番1号	〒573	電(0720)	40-1121
堺部品センター	：堺市築港新町3丁8番	〒592	電(0722)	45-8601
宇都宮部品センター	：宇都宮市平出工業団地38-16	〒321	電(0286)	63-6336
北海道部品センター	：北海道札幌郡広島町字大曲186-37	〒061-12	電(011)	376-2335
筑波部品センター	：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752)	2293
枚方部品センター	：枚方市中宮大池1丁目1番1号	〒573	電(0720)	40-1797
クボタトラクターコーポレーション(アメリカ・カリフォルニア州) ●カナダクボタトラクター販売(株)(オンタリオ州)				
ブラジル久保田鉄工(有)(サンパウロ市) ●クボタヨーロッパ(株)(フランス・アルジャントゥイユ市)				
イランクボタ(株)(ガズピン市) ●インドネシアクボタ(株)(スマラン市) ●マレーシアクボタ農業機械(株)(セランゴール州)				
タイクボタトラクター販売(株)(バンコック市) ●クボタマルスチール農業機械(株)(フィリピン・マニラ市) ●新台湾農業機械(株)(高雄市)				



久保田鉄工

品番 62523-6311-3